

リスク管理態勢

公共的使命が高い金融機関のリスクは社会的に多大な影響を及ぼします。金融機関は健全な経営を行うために、個別のリスク管理から統合的なリスク管理へと、さらなる管理態勢の強化に努めています。

たきしんは、業務の過程で発生しうるあらゆるリスクに適切に対応し、健全な業務運営に努めています。その一環として、平成17年4月に、各種のリスクを一元管理するリスク管理統括部を設置しました。ALM委員会は、経営環境に伴って発生する各種リスクを適正に管理する中心的な存在であり、理事会は、リスク管理に関する

すべての事項を経営レベルで審議・決定する、たきしんの最高意思決定機関です。

たきしんは、2006年度末に導入予定の新BIS規制の適用を視野に入れ、統合リスク管理態勢の構築を進めています。

注: ALMとは、Asset and Liability Managementの略で、資産と負債のバランスを総合的に管理することをいいます。

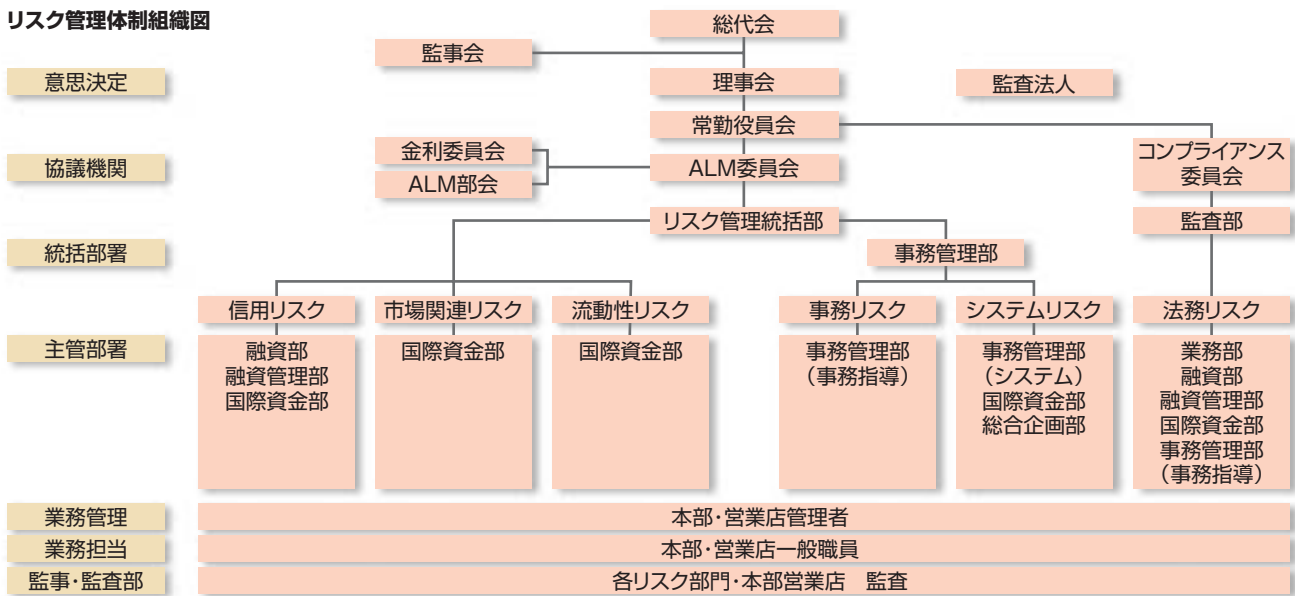
BISとは国際決済銀行(Bank for International Settlements)のことで、世界主要国の共同出資により、スイスのバゼルに、1930年に設立されました。BIS規制とは、BISが定めた自己資本比率に関する国際統一基準のことで、国際業務に携わる民間銀行には8%、国内業務は4%を求めています。BIS規制は過去2度改正され、今回の新BIS規制で3度目の見直しとなり、2006年度末に適用開始される予定です。

監査態勢

業務活動全般をモニタリングし、経営上のリスク管理と内部監査を行い、信用金庫としての役割と社会的責任の遂行に努めています。

外部監査態勢としては、従来の会計・業務監査に加え、市場リスク管理態勢に係る監査を新日本監査法人に委託しています。また、監事会に非会員の員外監事を1名選任し、外部監査の強化を図っています。

リスク管理体制組織図



■**信用リスク**とは、企業や個人への貸出が回収不能、または利息の徴求が不能になるリスクのことです。たきしんでは貸出資産の健全性を維持するため、厳格に資産査定を実施、信用リスクの管理を行っています。組織面では営業推進部門、審査部門、与信監査部門をそれぞれ独立させ、厳格な貸出審査・中間管理体制の強化を行っています。また平成13年9月より不良債権

対策協議会(現 再生支援対策協議会)を設置し、不良債権の管理強化を図っています。貸出金以外の与信関連資産についても厳格な自己査定を行うとともに、投資基準を設けて運用資産の健全性の維持を図っています。

■**流動性リスク**とは、金融機関が経営悪化やそのほか市場の混乱により、資金の調達ができなくなるリスクのことです。たきしんは、ALM委員会が資金の運用調達状況を適切に管理しております。また、信金中央金庫などによる業界全体のバックアップ体制も整っており、万全な体制が敷かれています。

コンプライアンス(法令等遵守)の推進

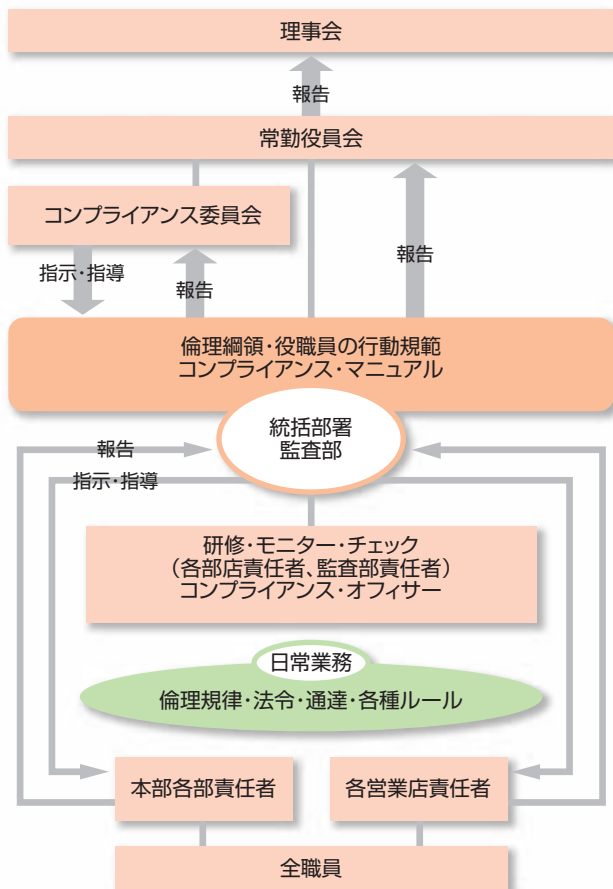
地域金融機関であるたきしんは、地域経済の健全な発展と繁栄を支援する社会的責任と公共的使命を担っているため、常により高い企業倫理が求められます。役職員一人ひとりが、法令・内規の遵守にとどまらず、それに見合う高い社会倫理・道徳の確立を目指した活動に取り組んでいます。

新中期経営計画「アクティブ C&C」の具体的な取り組みのひとつに「コンプライアンスの強化」を掲げ、1) 監事による牽制機能の強化と経営監査の充実、2) 情報開示

の強化、3) 新BISへの対応と個人情報保護、などの取り組みを行っています。

たきしんは、平成11年8月に「瀧野川信用金庫倫理規定」を制定し、業務において遵守すべき行動規範である「コンプライアンス・マニュアル」を定めて、地域のみならず厚い信頼を得ることを目指しています。各店舗には責任者としてコンプライアンス・オフィサーを置き、職員の相談や日常業務を厳重にチェックして改善に努めています。

コンプライアンス体制



コンプライアンス研修会

■ **システムリスク**とは、コンピュータシステムのダウンや誤作動により損失を被るリスクのことです。

たきしんは、平成11年度よりコンティンジェンシープラン(危機管理計画)を策定し、全システムに対して不慮の事故が生じた場合の影響や対応策を確立しています。

■ **市場関連リスク**とは、各種の相場変動によって収益や資産価値などに悪影響を及ぼすものです。資産(貸出金・有価証券等)と負債(預金等)の金利変動に伴う「金利リスク」、保有している有価証券(株式・債券等)の価格変動による「価格変動リスク」、外国為替相場の変動に伴う「為替リスク」などがあります。これらのリスクに対応するため、ALM委員会を中心に運用調達管理を行っています。

■ **事務リスク**とは、事務上のミスや不正により損失を受けるリスクのことです。

たきしんは、本部監査部による臨店検査を定期的に行っているほか、事務管理部による臨店指導などを実施しています。また、事務リスクに対する研修や事務マニュアル整備などを図り、事故の未然防止に努めています。